

神樹の会会報

No. 10

本部事務所：神戸市灘区備後町3丁目2番22号

昭和 61年 12月 20日

六甲作業所内 TEL(078)821-1533

(事業所)

六甲作業所及び東部生活訓練所
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533

垂水作業所及び西部生活訓練所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675

福祉の店「いたやど」
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477



岸田元知事(左)と喜びも
ひとしおの牧野会長

牧野神樹の会会長は、去る九月十日に文化ホールで行われた神戸市社会福祉大会に於いて「民間社会福祉事業団体関係功労者」の部門で市長表彰を受けられました。「神樹の会の会長として、地域福祉の増進に多大の貢献をされた」ことが功績の内容であります。又、同二十日、財団法人総合教育研究財団(理事長 岸田幸男氏、専務理事 糟谷日出男氏)の教育活動の一環として五十七年より出されている「明日っ子教育賞」の社会福祉教育活動部門に於いても授賞されました。これは、地域社会や教育・福祉の場などで奉仕活動を実施しておられる個人団体を顕彰するために設けられたものです。

これらの賞を受けられたことは、長年にわたっての牧野会長の障害児(者)に対する愛情と熱意や積み上げられた実績のすばらしさに対し各方面から惜しみない拍手を頂戴したことになり、会員一同たいへんうれしく存じております。又、牧野会長は神戸市の援助で発足する社会福祉法人「神戸明輪会」(申請中)の理事長として六十二年四月にオープンする重度身体障害者授産施設の運営も担われる予定になっております。

牧野会長 授賞される

社会福祉大会で市民表彰を

ご協力をいただいたみなさん

1. 風田台谷岡水、清具閣名岩垂、者楠島、合岡谷、保護、港、東穂押、保田、小東穂押、は稗宮、小美、又、二場合、宮、A台、道落一の、T吉ま、西第桜、P住、津、も、あ、津、と崎影、聞、ら、園魚御宮多、か、校、若、の、各庄郷、河、が、池喜、(本西台淡、の遊、部、が、丸奥、部吉山、戸川尾子尾野山影部、の山崎竜徳高、池の住本甲神伊横舞松真束君の吉田開白山校塚育社ユ自会ラ兵東金技園本御、好東わ大校、六、東、小、校住原多、桃学赤保会シ区のプ社聞用遊稚、谷、か、学森崎、柄磨丸、東池、子学、東、等、磨なん地ず一会新信俱幼江庫川野尾ら野小が川耶野須高丸部里部舞中山峰代水子高合須主り田ん夕式売路庫深兵伊西横し有、渦東摩小西上高小志小西、本長西垂舞、其北、マ山あス株読姫兵
 2. 甲 中 台 歳 丘、開 鶴 雲 台 畑 千 谷 が、大、灘 丘、泉 下、箕 桜、井 訪、霞 の 場 木 塩 陵 台、簡 諏 野、普 道 乙、広 蘭、上、平 一、合、鈴、三、第 一 子 谷 落 川、葉、住 第 菜 山 第 舞 花 南 白 台 五、福 山 若 本 津、聞 北、本、玉 和 南 水 脇 多、田、丘 庄、高 聞 垂 西、宮、神 池 野 本 寺、多、丘 若、福 美、法 台、合 丸 ヶ、崎、影 妙 陵 内 落 高 代 田、魚 二 德 御、神 室 東 西 千 長、(本西台淡、の遊、部、が、丸奥、部吉山、戸川尾子尾野山影部、の山崎竜徳高、池の住本甲神伊横舞松真束君の吉田開白山校塚育社ユ自会ラ兵東金技園本御、好東わ大校、六、東、小、校住原多、桃学赤保会シ区のプ社聞用遊稚、谷、か、学森崎、柄磨丸、東池、子学、東、等、磨なん地ず一会新信俱幼江庫川野尾ら野小が川耶野須高丸部里部舞中山峰代水子高合須主り田ん夕式売路庫深兵伊西横し有、渦東摩小西上高小志小西、本長西垂舞、其北、マ山あス株読姫兵
 3. 南 台 台、山 蘭 陵、本 鈴 神 馬、野 合、有、上 落 丘、湊、東、西、子 台 が 雲 屋、帽 取 竜、塩、烏 高、取、影 島 多、福 部 校、御 港 本 山、の 高、崎 戸 台、丸 倉 他 戸、魚 神 輔、高 の 神 々、敬 称 神 樹 式 株 会、支、サ ン 糧 会 式 社 ミ 店 延、略、ホ 穀 社 会 親 日、命、テ 株、社 和 シ 東 地、順、ル、式、シ、福 油 京 蔵、不、会、ユ、ヤ 祉 脂 供、同、今 社、マ 会 株 ア 養、井、ズ、シ、式、一、者、物 力 マ、具 社 事、教 銀 モ、マ、室 行 ト、コ ト
 4. 着 勞 ヤ ン 文 会 商、物 力 マ、具 社 事、教 銀 モ、マ、室 行 ト、コ ト
 5. 着 勞 ヤ ン 文 会 商、物 力 マ、具 社 事、教 銀 モ、マ、室 行 ト、コ ト
- その他、多くの方々が協力いただきました。感謝!!

感謝と感激いっぱいのパザー

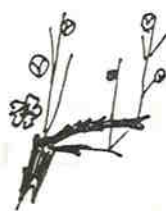
神樹の会会長 牧野一夫

恒例の神樹の会パザーは、さる十月二十日・二十一日の両日さんちか広場をお借りして行なわれた。

昭和四十七年以來第十五回目である。毎年続けてご協力を賜わる関係各位に心から感謝申し上げたい。殊に、本年は私達の多年の宿願であった重度身体障害者の授産施設が「しあわせの村」に建設されることになりその募金依頼と重なったためご支援下さる方々には二重の負担をお掛けすることとなった。そのためPTAの中にはわざわざ会長名で、募金の趣旨とパザー依頼の文を全会員にご配布されたところもあると聞きまことに胸ふさがる思いがする。例年に比べて期日が繰上がったため会員の方々はじめ垂水・友生両校にも随分迷惑をおかけした。殊にパザーの搬入日が日曜日になったため両校の先生方には休日の夜にわざわざご出勤をお願いし、大挙応援にかけつけていただき、お陰で午後十時前にはパザー開催の準備をととのえることが出来た。又、例年のことではあるが残品引取りのため翌日の午後八時以降に再度さんちかに集まっていたため整理運搬の業務を担当していただくことはまことに申し訳のないことと厚く厚くお礼を申し上げます。

それにしても年一回のパザーとはいえ、出品の依頼、寄贈品の受取り、値付け、運送、当日の販売等々会員総出で全く奉仕でこの行事を担当していただくのである。この血のにじむ思いの尊い資金が市の補助金と相まって、施設の建設、六甲・垂水両作業所の運営、東西二ヶ所の生活訓練場の経営費として活用されることになるのであるが、これらの心のもった基金を通して障害児(者)の心の支えになっている事は申すまでもない。あらためてご支援を頂いた方々に心からお礼申し上げます。

ワークホーム「明友」の経過



昭和五十九年二月、神戸市民生局のよびかけにより、神樹の会と神戸市重度心身障害児者父母の会が提携して身体障害者授産施設を建設することになり、それぞれの年次総会で設立の承認を得て、同年十一月に「法人設立準備委員会」を開催したのが本事業活動の発端である。

以来、二十回に及ぶ準備委員会を経て、第二十一回目に正式に社会福祉法人理事予定者による準備理事会を昭和六十年九月に開き、準備委員会において検討してきた原案の承認を得ると共に正式に法人設立と施設建設の準備にとりかかった。

まず、社会福祉法人設立に關する対県折衝と書類の整備施設建設の内容検討（設計及び管理一切を神戸市都市整備公社へ委託のこと）、授産科目、資金計画、募金の趣旨並びに計画目標等々が審議され直ちに実行に移された。

特に、施設長に内定した神戸市民生局育成課嘱託の高井寛氏を迎え諸計画は急速に進行した。



建設中のワークホーム「明友」

建設工事については、厳正な入札の結果株式会社明和工務店（小山五郎社長）が請け負うことになり、十月一日現地に於て、

関係者六十数名参加のもとに、ワークホーム「明友」の安全祈願と起工式が挙行された。現在は外形がほぼ完了しコンクリート打ちも終えている。

資金計画も予定通り進行し、自己資金九千六百万円の中、三千万円が神樹の会と父母の会の拠出金、五千万円が社会福祉医療事業団よりの借入金、そして、一千六百万円は一般募金、それぞれ予定通り実施承認を得た。殊に、一番心配された一般募金は目標額をようやくくわして突破し

今なお各方面の支援と申込を受け極めて順調な経過をたどっている。一方、施設の運営に關しては関係職員の見直しも入り、入所希望者の面接も関係各機関の協力のもとに着々と進行している。又、授産事業の主要なポリエチレン製袋に必要な最新式高性能の機械も発注済みである。七十ヘクタールに及ぶ広大な「しあわせの村」の大地の南端の一角に、六十二年四月（予定）本村第一号の建物が完成されるのである。六十四年の市制百周年やフェスピックが開催される時には、他都市に類のない異国風の超近代的福祉ゾーンが完成することになるであろう。まことに感激の極みである。

神戸市民生局心身障害福祉室育成課の心障係長の安井昌義氏がフェスピック担当主査へと栄転されました。

安井氏は、社会福祉法人神戸明輪会（申請中）設立のため、その準備委員会に色々協力下さいました。

神戸市民生局育成課
係長 異動のお知らせ

大変お世話になったことに、改めて感謝の

意を表したいと思います。
尚、後任に寺本進彦氏が着任されました
寺本係長の職歴

神戸市立三木養護施設
神戸市立あけぼの学園
神戸市立たまも園園長
中央福祉事務所福祉係長

収入の部		金額
会場売上	5,393,120	
会場寄附金	776,659	
計	6,169,779	
支出の部		金額
会場設営費	265,250	
場設費	158,540	
場設事務費	48,957	
会通事務費	205,400	
文書印刷費	66,691	
手芸材料費	75,100	
値札費	343,703	
計	1,163,641	
差引収益	5,006,138	

神樹の会に關した

中野 紀子

神樹の会は、先輩方の地道でパワフルな活動が実を結び、ワークホーム「明友」を誕生させました。私達も先輩方と力を合わせてそのパワーを絶やす事なく、取り組んでいかねばならないと思います。

在校生の多くの親達は、最初「どうせ、はいられへんもん関係ないわ」と言う無関心な意見が多かったように思います。しかし、デイ・サービス事業がうち出されたいまは、最初の一つが出来なければ何もはじまらないという思いが満ちてきつつあります。

卒業後は、授産所はだめでも、一日中天井を見て過ごすことのないよう毎日楽しくつどえる場を探してやりたいと、私は願っています。

「果たして八年後にわが子の行ける場所があるのでしょうか」

毎日通うのだから地域毎にあればいいな、小規模でアットホームなのがいいな、地域の人達とどけこめるような場がいいな、年とっていく親のことも考えて毎日付き添って行かずとも送迎があればいいな……神樹の会への私の夢はどんどんふくらんでいくのです。

（小五母親）

神樹の会に入会して

宮本 恭子

神樹の会に入会して、やっと九カ月になろうとしています。世間知らずで、母親としても未熟な私が年子の弟を保育所に預け母子通園施設に通って訓練をして、四年間というものの、毎日の生活・家事・育児などやっとの思いでやりきる事だけで精一杯でございました。しかし、バザーなどのお手伝いをさせていただき、皆様方の実行力、エネルギーに感動しますと共に、私など足元にもおよばぬことを恥ずかしく思いました。

親ばなれ子ばなれ出来ずに娘を不敏に思い加保護にしてきたことにやっと思いが覚める思いです。

『育児』とは『育自』であると本で読んだことがあります。私自身が子どもに教えられ諸先生、諸先輩のお母様方にもお教えいただき勉強していきたいと思っております。

（幼稚部 母親）

「福祉機器」

展示コーナーオープン

体の不自由な方、介護の必要なおとしよりに安心して快適な社会生活を送っていただけるよう、福祉機器展示コーナーが、神戸市民身障害福祉センター一階に設置されました。入浴用品、便器、介護用品、介護用衣料、枕、ベット、リフト、車いす、歩行器など約五百点が展示されています。皆さま、どうぞご利用下さい。

あどがき

神樹の会会報第十号をお届けいたします。今号より広く会員の方のご意見も掲載することにいたしました。皆様の投稿をお待ちいたします。

宮脇 テル子